

幻の中央道(名神高速は中央自動車道)

JJ1SXA/池

名神高速道路の高速自動車国道法に基づく法定路線名は、「高速自動車国道中央自動車道西宮線」です、何故、「名神高速」が「中央自動車道」なのだ、大いに疑問です、これは東京と大阪を結ぶ高速道路の歴史的経緯によるようです。

名神高速道路と、全然関係ないようだが、現在の中央道の路線図を東京から見ていくと、高井戸から西へ向かう中央道は、大月で二手に分かれ、片方は甲府や諏訪を經由して名古屋へ向かう本線、もう片方は河口湖まで行って終点の支線です。

最初の「中央自動車道」計画は、東京高井戸から八王子・大月を経て河口湖へ出て、そこから身延町を經由して南アルプスを長大トンネルでぶち抜いて飯田へ直進し、後は現在の中央道・名神道のルートで神戸を目指すという計画だったようです。

そしてこの計画に沿って建設が開始されたのが、「名神道」です、このような経緯で、名神道はこの「中央自動車道」計画の一環として最初に建設された区間なので、その関係で今も「中央道の一部」とされています。

そして名神道が完成すると、中央道は東京と名神道区間をつなぐ工事へ入ります、現在の「中央道・高井戸～河口湖」、「中央道・飯田～小牧」です、

先ずは、東京側から河口湖までの建設が始まり、追って小牧から飯田の建設が始まりますが、この工事段階で、南アルプス横断ルートが当時の技術力では困難である事がわかってきました、工期と工費が予想を大きく上回る事となったのです、同時に道路交通の需要が高まり、東京と名古屋を結ぶ高速道路の早期完成が叫ばれました。

こうして出てきたのが「東海自動車道」の計画で、これが現在の東名道となります、東海自動車道は中央自動車道と比較して工費や工期の面で有利で、特に短期間での完成が可能な事が決定打となり、東京と名古屋を結ぶ高速道路の計画は東海道経由に変更されました、同時に中央道は、大月から甲府・諏訪・伊那を經由して、建設が始まっている飯田に接続するよう計画が変更されたのです、このような歴史的経緯があるので、名神高速道路と呼ばれている区間は本来は中央道なのです、ですが、その中央道は現在存在している中央道とは別で「幻の中央道」だと理解しなければいけません、現在の中央道は、本線になる筈だった「河口湖線」は支線になり、計画変更後の線が本線になった。

これで「名神道路」が「中央道」の一部であり、路線名が「高速自動車国道中央自動車道西宮線」であることわかりました、「高速自動車国道法に基づく法定路線名」のことですが、「長野自動車道」は、「高速自動車国道中央自動車道長野線」で、これも中央自動車道でした、では、「上信越自動車道」はどうなんだと思ったら、「高速自動車国道関越自動車道上越線」でした、本来の(と思っている)「関越自動車道」は、「高速自動車国道関越自動車道新潟線」でした。

「東名高速」は「高速自動車国道第1東海自動車道」で、「新東名高速道路」は「高速自動車国道第2東海自動車道横浜名古屋線」が正式な路線名です。

「名神高速道路」は「高速自動車国道中央自動車道西宮線」でしたが、「新名神高速道路」は「高速自動車国道近畿自動車道名古屋神戸線」で、「中央自動車道」ではありません、高速自動車国道法に基づく法定路線名は、曲者ですhi